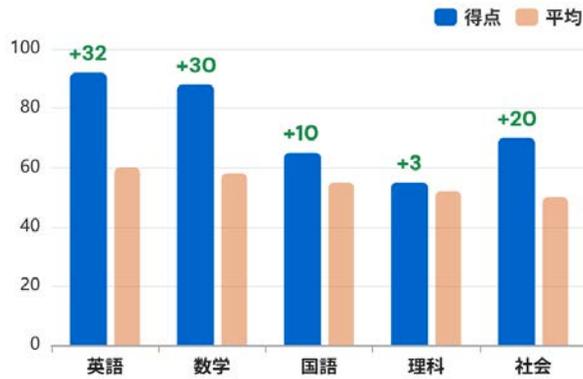
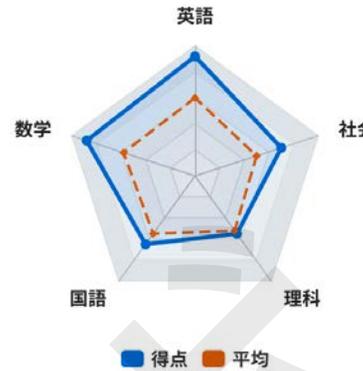


本レポートは、お子様の定期テスト答案・問題用紙・学校公表の平均点等の実データをもとに、弊社開発のAI分析により作成しています。一人ひとりの解答傾向・誤答パターン・観点別の得点状況を個別に分析し、学習改善のポイントを提示します。観点別評価の枠組みは文部科学省「学習指導要領」（令和3年度全面実施）に、評定の算出基準は東京都教育委員会のガイドラインに準拠しています。なお、評定予測は統計的分析に基づく参考値であり、実際の評定は学校により決定されます。

📊 得点 vs 平均（乖離付き）



📊 教科バランスレーダー

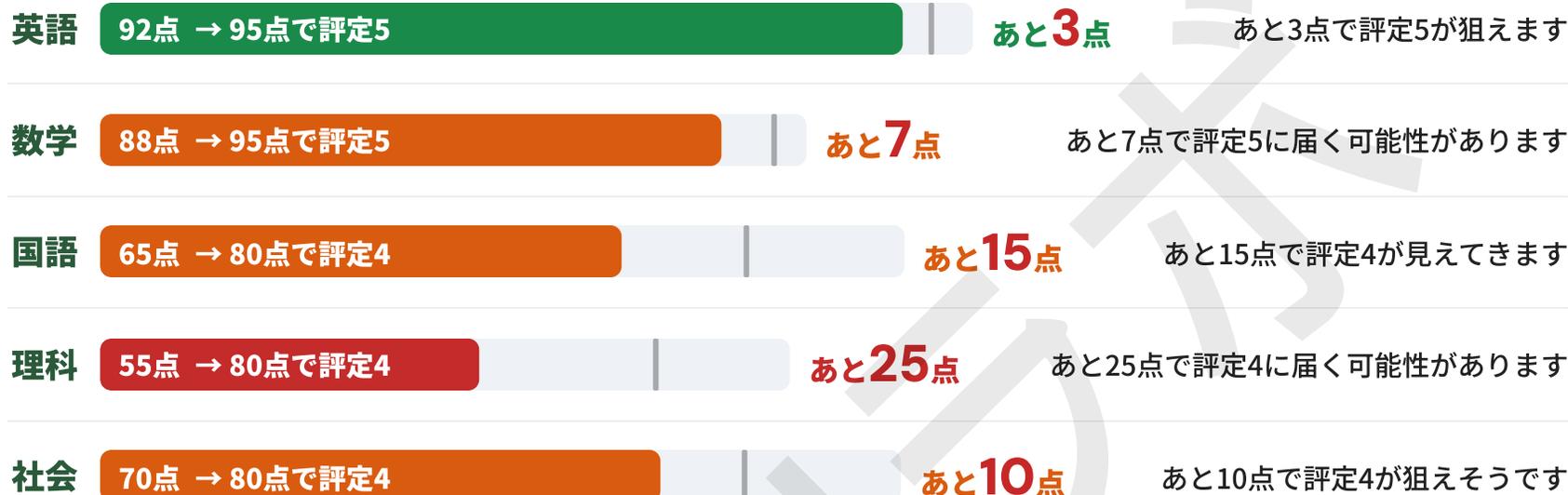


📄 教科別予想と分析

英語 4~5	得点 92	平均 60	乖離 +32	長文読解・リスニングともに トップ クラスの実力と考えられます。英作文の表現力をさらに磨くことで、より確実な高評定につながることを期待できます。
数学 4~5	得点 88	平均 58	乖離 +30	応用問題の正答率が高く、 安定した得点力 が見込まれます。ケアレスミスを減らす工夫として、見直し時間を確保する習慣をつけると、さらに得点が伸びる可能性があります。
国語 3~4	得点 65	平均 55	乖離 +10	漢字・語句の基礎得点を 安定 させることが、全体の 底上げ につながる可能性があります。例えば記述問題で部分点を確実に取る 練習 を日々の学習に取り入れてみてはいかがでしょうか。
理科 2~3	得点 55	平均 52	乖離 +3	実験・観察の記述問題に 取り組む 時間を増やしてみると良いかもしれません。教科書の図表を使った 復習 で、理解が深まる可能性があります。
社会 3~4	得点 70	平均 50	乖離 +20	地理・歴史は 安定 して得点できていると考えられます。公民分野を意識的に学習に取り入れると、得点に直結する可能性があります。
音楽 -	実技教科			期末テストに向けて、授業で扱った楽典の内容を 復習 しておく効果的かもしれません。提出物を丁寧に仕上げることで評定 アップ につながります。
美術 -	実技教科			作品制作では丁寧さと工夫を意識してみてください。鑑賞レポートの質を上げることも、評定に良い影響を与える可能性があります。
技家 -	実技教科			レポートの提出を確実にし、実技テストの準備を 計画的 に進めると、評定 アップ につながるかもしれません。
体育 -	実技教科			実技の力を活かしつつ、保健分野のペーパーテスト 対策 に取り組んでみると、さらなる評定 アップ が期待できそうです。

全体的に平均を上回る成績と考えられます。特に**英語・数学の得点力**が際立っており、理系・文系ともに**バランス**の取れた学力基盤がありそうです。内申点の更なる**アップ**には**副教科の底上げ**と、定期テストでの**安定**した得点が**鍵**になると考えられます。集中力を活かした**学習計画**で、志望校合格に向けて着実に前進できる可能性があります。

あと何点で評定UP



平均との乖離分析

英語

92点 / 平均60点 —— 上位5%圏

+32 学年トップクラスの得点力。このまま維持で…リスニング・長文読解ともに高水準。文法の正答率も安定しており、大きな弱点が見当たりません。

数学

88点 / 平均58点 —— 上位10%圏

+30 計算力・応用力ともに優秀と考えられます。関数・図形の応用問題で高い正答率。証明問題の記述力をさらに磨くと満点圏が狙えます。

国語

65点 / 平均55点 —— 平均やや上

+10 記述力の伸びしろが期待できそうです。漢字・語句は安定していますが、読解の記述問題で部分点止まりの傾向があります。

理科

55点 / 平均52点 —— 平均付近

+3 平均付近のため、基礎の定着が鍵になりそう…実験・観察の記述が弱く、計算問題でのケアレスミスも目立ちます。基礎の反復で伸びしろ大。

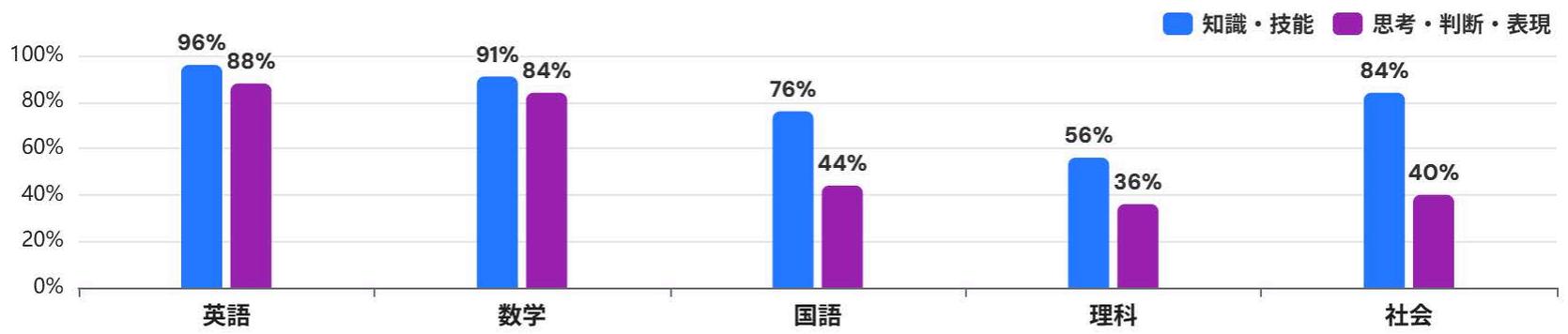
社会

70点 / 平均50点 —— 上位20%圏

+20 暗記教科で安定した得点力です。地理・歴史は高得点ですが、公民分野がやや手薄。時事問題への対応力を上げると更に安定します。

「乖離」とは？ 生徒の得点と学年平均点との差です。プラスなら平均を上回り、マイナスなら下回っています。乖離が大きいほど学年内での相対的な位置が高く、教科ごとの強み・弱みを客観的に把握できます。

5教科 観点別クロス分析



教科	知識・技能	思考・判断・表現	傾向
英語	96% 48/50	88% 44/50	バランス
数学	91% 50/55	84% 38/45	バランス
国語	76% 38/50	44% 22/50	知識型
理科	56% 28/50	36% 18/50	知識型
社会	84% 42/50	40% 20/50	知識型
合計	81% 206/255	58% 142/245	

💡 全体的に**知識・技能**（81%）が**思考・判断・表現**（58%）を大きく上回っています。基礎知識は身につけていますが、記述・応用問題の練習を強化することで、評定の大幅アップが期待できます。

保護者の方へ — 「観点別評価」と「評定」のしくみ



①知識・技能

定期テスト・小テスト・
実技テスト等が中心

テスト比重大



②思考・判断・表現

テストの応用問題・
レポート・発表等

テスト比重大



③主体的に学習に 取り組む態度

提出物・授業態度・
ノート・振り返り等

テスト以外が中心

⚠️ 「AAA」でも評定5にならないケース

A 80%以上でA

5 90%以上で評定5

各観点「A」は80%以上ですが、評定5には**3観点の平均90%以上**が必要です。つまり「低めのA」が3つ揃っても評定4になることがあります。

😞 AAA → 評定4の例

知識80% + 思考85% + 態度82% = 平均**82%** → 評定4

😊 AAB → 評定5の例

知識100% + 思考98% + 態度75% = 平均**91%** → 評定5

📊 テストの点数だけでは決まりません

テストで評価できるのは①②の2観点のみ。③「主体的に学習に取り組む態度」は**提出物の質・授業への参加・ノートの工夫**などで評価されます。

つまりテストで高得点でも③が低ければ評定は上がりにくく、逆にテストが多少低くても③が高ければ評定が上がることもあります。

💡 本レポートでは①②の観点別得点率をAI分析で算出しています。③は学校の評価によるため予測に幅が出ます。各教科の詳細ページで観点別の強み・伸びしろをご確認ください。

総括レポート

サンプル太郎さん・中2・3学期 | 2026-03-25

♥ サンプル太郎 さんへのメッセージ

あなたの英語と数学の得点力は本当に素晴らしいです！この2教科はあなたの大きな武器になっています。理科と国語をもう少し伸ばせば、内申点が一気にアップする可能性があります。毎日の小さな積み重ねを大切に、自信を持って次のテストに臨んでみてください！

🗨️ 保護者の方へ

英語・数学でしっかりとした学力基盤があると考えられます。副教科と理科の底上げが内申アップのカギになりそうです。ご家庭では学習環境の整備と、お子さまの頑張りを認める声かけをお願いいたします。面談でより詳しくご相談させていただきます。

📊 観点別評価と評定のしくみ — なぜAAAでも5にならない？

各観点の評価基準

A	80%以上
B	50~79%
C	50%未満

💡 A=80%以上。つまり「ギリギリのA」は80点です。

① 知識・技能 **テスト比重大**

- 漢字・計算・用語などの基礎知識
- 定期テスト・小テストの得点
- 実技教科は実技テストも含む

② 思考・判断・表現 **テスト比重大**

- 記述問題・応用問題の正答率
- レポート・発表・資料の読み取り
- 「なぜ?」「どう考える?」を問う問題

③ 主体的に学習に取り組む態度 **テスト以外が中心**

- 提出物の期限と質(ノート・ワーク)
- 授業中の発言・挙手・グループ活動
- 振り返りシートの記述内容

3観点の合計点 → 評定 (5段階)

3観点 × 各100点満点 = 300点満点

5	270~300点	90%以上
4	240~269点	80~89%
3	150~239点	50~79%
2	90~149点	30~49%
1	0~89点	30%未満

😬 AAA → 評定4のケース

知識82 + 思考80 + 態度83 = 合計245点
→ 全部Aだが270に届かず評定4

😊 AAB → 評定5のケース

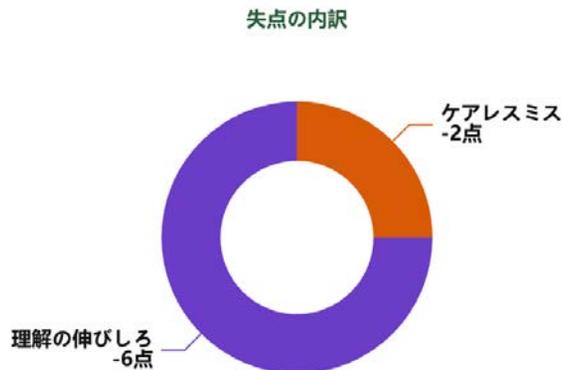
知識98 + 思考95 + 態度78 = 合計271点
→ 1つBでも高得点なら評定5に!

※ 評定の基準は学校・自治体により異なる場合があります。上記は一般的な目安です。

到達度：知識・技能 100%

到達度：思考・判断・表現 80%

失点の内訳



単元別得点率



観点別分析 (通知表に直結)

①知識・技能

A

42/42点 (100%)

語彙・文法・リスニングすべてで満点。知識面は盤石です。

強み：語彙、文法、リスニング、対話文

②思考・判断・表現

A~B

28/35点 (80%)

長文読解・英作文の記述で部分点止まりの問題があります。表現の幅を広げることでA評価が安定します。

強み：内容一致、要旨把握

伸びしろ：英作文の記述、長文の記述

③主体的に学習に取り組む態度はテストでは測定できません。提出物・授業態度・小テスト等で評価されます。

①知識・技能がA、②思考・判断・表現がA~Bと予測されます。総合的に評定5の可能性が高いです。

ミスの内訳分析

⚡ ケアレスミス：1問 (-2点)

冠詞の書き忘れなど、見直して防げるミスです。

💡 理解の伸びしろ：2問 (-6点)

記述問題で文法的な正確さと表現の幅に伸びしろがあります。

🎯 得点アップの可能性

⚡ ケアレスミスがなければ94点 (+2点)

📄 記述力を磨けば98点 (+6点)

🎯 次回の現実的な目標は95点以上です

💡 「ケアレスミスがなければ…」を現実にするには、**テスト中の見直し5分**が最も効果的です。途中式を丁寧に書き、最後に符号・単位・問題の読み間違いをチェックする習慣をつけましょう。ミスをなくす力も実力のうちです。

↑ これから取り組むこと (英語：評定4→5)

到達度：知識・技能 96%

到達度：思考・判断・表現 88%

知識・技能は96%と盤石。思考・判断・表現 (88%) をさらに**伸ばす**ことで評定5が**安定**します。英作文や長文の要旨把握など、表現力を鍛える学習が効果的です。

- ▶ 英作文の模範解答を毎週3つ写経し表現パターンを蓄積
- ▶ 長文問題で筆者の主張を要約する練習
- ▶ リスニング後に内容を英語で説明する訓練

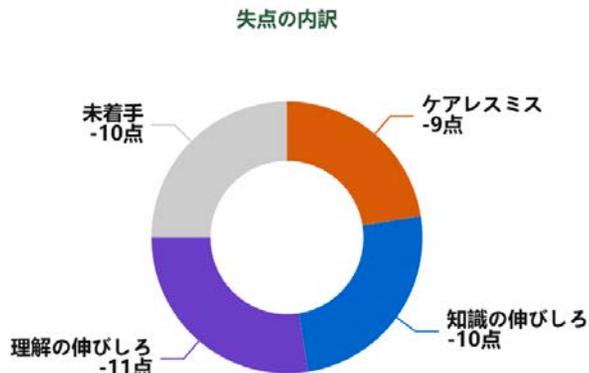
🏠 家庭サポート：思考力を伸ばすには「なぜその答えになるの?」と考えるプロセスが大切です。お子さまが英語の宿題をしているとき、長文の内容について日本語で感想を聞いてみてください。表現力のトレーニングにつながります。

問題	観点	単元	配点	得点	判定	エラー
大問1(1)	知・技	リスニング (対話文)	4	4	✓	
大問1(2)	知・技	リスニング (説明文)	4	4	✓	
大問1(3)	思・判・表	リスニング (要約記述)	5	3	✗	ケアレス
→ 冠詞の書き忘れです						
大問2(1)	知・技	語彙・文法 (穴埋め)	4	4	✓	
大問2(2)	知・技	語彙・文法 (並べ替え)	4	4	✓	
大問2(3)	知・技	語彙・文法 (書き換え)	4	4	✓	
大問3(1)	思・判・表	長文読解 (内容一致)	5	5	✓	
大問3(2)	思・判・表	長文読解 (要旨把握)	5	5	✓	
大問3(3)	思・判・表	長文読解 (記述)	6	4	✗	理解
→ 内容は合っていますが、関係代名詞の使い方に課題があります						
大問4(1)	思・判・表	英作文 (条件付き)	6	6	✓	
大問4(2)	思・判・表	英作文 (自由英作文)	8	5	✗	理解
→ 論理展開は良いですが、文法的な正確さに伸びしろがあります						
大問5(1)	知・技	対話文読解	5	5	✓	
大問5(2)	知・技	対話文 (空所補充)	5	5	✓	

到達度：知識・技能 74%

到達度：思考・判断・表現 34%

📊 失点の内訳



📊 単元別得点率



📊 観点別分析 (通知表に直結)

① 知識・技能

B~A

40/54点 (74%)

基礎的な計算力はしっかり身につけています。確率と標本調査の知識を補強することでA評価に届く可能性があります。

👉 強み：正負の計算、方程式、因数分解、空間図形

👉 伸びしろ：確率、標本調査

② 思考・判断・表現

B~C

11/32点 (34%)

記述問題で部分点は取れていますが、完答率に大きな伸びしろがあります。根拠を明確に書く練習と時間配分の改善が鍵になりそうです。

👉 強み：グラフの読み取り

👉 伸びしろ：関数の面積問題、図形の証明

③主体的に学習に取り組む態度はテストでは測定できません。提出物・授業態度・小テスト等で評価されます。

①知識・技能がB~A、②思考・判断・表現がB~Cと予測されます。③の状況次第ですが、総合的に評定3~4の可能性が考えられます。

🔍 ミスの内訳分析

⚡ ケアレスミス：2問 (-9点)

平方根の整理と変化の割合の計算で、途中計算のミスが見られます。見直しの習慣をつけることで防げる可能性が高いです。

📖 知識の伸びしろ：2問 (-10点)

確率の場合の数と標本調査の比例計算に伸びしろがあります。教科書の例題を繰り返し解くことが効果的かもしれません。

💡 理解の伸びしろ：3問 (-11点)

考え方の方向性は合っていますが、記述問題で根拠を明確に書く練習が得点アップにつながりそうです。

🕒 未着手：2問 (-10点)

大問の後半が未着手です。時間配分を意識して、解ける問題から先に取り組む戦略が有効かもしれません。

🎯 得点アップの可能性

⚡ ケアレスミスがなければ97点 (+9点)

📖 基礎知識を固めれば107点 (+19点)

🎯 次回の現実的な目標は95~100点です

💡 「ケアレスミスがなければ…」を現実にするには、**テスト中の見直し5分**が最も効果的です。途中式を丁寧に書き、最後に符号・単位・問題の読み間違いをチェックする習慣をつけましょう。ミスをなくす力も実力のうちです。

📈 これから取り組むこと (数学：評定4→5)

到達度：知識・技能 91%

到達度：思考・判断・表現 84%

知識・技能は91%で**安定**。思考・判断・表現 (84%) の**強化**がカギです。証明問題や応用問題の論理的な記述力を磨くことで、評定5に近づきます。

- ▶ 証明問題を毎日1問、論理構成を意識して解く
- ▶ 応用問題の解法をノートに図解でまとめる
- ▶ 見直し時間5分を確保しケアレスミスを防ぐ

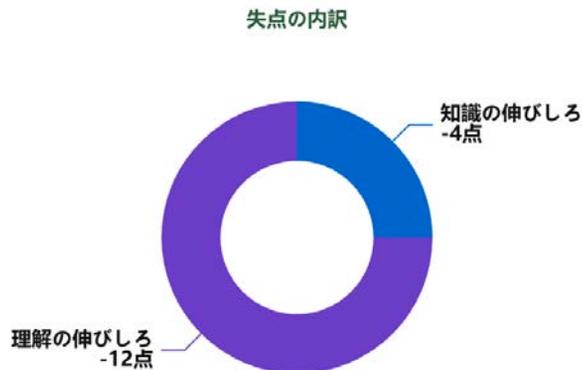
🏠 家庭サポート：思考力が課題のため、答えだけでなく「**どうやって解いたか**」を説明してもらった時間を作ると効果的です。テスト返却時に途中式や証明の書き方を一緒に見てあげてください。

問題	観点	単元	配点	得点	判定	エラー
大問1(1)	知・技	正負の計算	4	4	✓	
大問1(2)	知・技	文字式の計算	4	4	✓	
大問1(3)	知・技	方程式	4	4	✓	
大問1(4)	知・技	平方根	4	0	✗	ケアレス
→ $\sqrt{\quad}$ 中の整理でミスしている可能性があります						
大問1(5)	知・技	因数分解	4	4	✓	
大問1(6)	知・技	二次方程式	4	4	✓	
大問1(7)	知・技	確率	5	0	✗	知識
→ 場合の数の数え方に課題がありそうです						
大問2(1)	知・技	一次関数 (式)	5	5	✓	
大問2(2)	思・判・表	一次関数 (グラフ読取)	5	5	✓	
大問2(3)	思・判・表	一次関数 (面積)	5	0	✗	理解
→ 底辺と高さの取り方に理解不足が見られます						
大問3(1)	知・技	平面図形 (角度)	5	5	✓	
大問3(2)	思・判・表	図形の証明	7	3	✗	理解
→ 証明の流れは理解していますが、根拠の記述が不足しています						
大問4(1)	知・技	空間図形 (体積)	5	5	✓	
大問4(2)	思・判・表	空間図形 (表面積)	5	0	✗	未着手
→ 時間不足で未着手の可能性があります						
大問5(1)	知・技	関数 $y=ax^2$	5	5	✓	
大問5(2)	知・技	関数 $y=ax^2$ (変化の割合)	5	0	✗	ケアレス
→ 計算途中で符号を間違えた可能性があります						
大問5(3)	思・判・表	関数 $y=ax^2$ (面積)	5	0	✗	未着手
→ 時間不足で未着手の可能性があります						
大問6(1)	知・技	データの活用	4	4	✓	
大問6(2)	思・判・表	データの活用 (記述)	5	3	✗	理解
→ データの傾向は読み取れていますが、根拠の説明がやや不十分です						
大問6(3)	知・技	標本調査	5	0	✗	知識
→ 母集団と標本の関係の理解に伸びしろがあります						

到達度：知識・技能 84%

到達度：思考・判断・表現 68%

📊 失点の内訳



📊 単元別得点率



📊 観点別分析 (通知表に直結)

① 知識・技能

A~B

16/19点 (84%)

漢字・語句・文法の基礎力は良好です。古語の語彙を強化すればA評価が安定します。

👉 強み：漢字の読み、語句、表現技法

👉 伸びしろ：漢字の書き、古語

② 思考・判断・表現

B

28/41点 (68%)

読解の選択問題は正答できますが、記述問題で完答率が低いです。根拠を引用して書く練習が効果的です。

👉 強み：心情把握、内容理解

👉 伸びしろ：論説文の記述、作文

③主体的に学習に取り組む態度はテストでは測定できません。提出物・授業態度・小テスト等で評価されます。

①知識・技能がA~B、②思考・判断・表現がBと予測されます。記述力の向上で評定4が狙えます。

🔍 ミスの内訳分析

📖 知識の伸びしろ：2問 (-4点)

漢字の書き取りと古語の語彙に伸びしろがあります。

💡 理解の伸びしろ：4問 (-12点)

記述問題で根拠の引用や論理的な構成に課題があります。部分点は取れていますが完答に届きません。

🎯 得点アップの可能性

⚡ ケアレスミスはありません (現状65点)

📖 漢字・古語を固めれば69点 (+4点)

🎯 次回の現実的な目標は75~80点です

📈 これから取り組むこと (国語：評定3→4)

到達度：知識・技能 76%

到達度：思考・判断・表現 44%

思考・判断・表現が44%と大きな課題です。読解の記述問題で「なぜ」「どのように」を意識した解答練習が最優先。知識面(76%)も漢字・語句の取りこぼしを無くすことで底上げできます。

- ▶ 記述問題を1日1問、模範解答と構成を比較
- ▶ 漢字ドリル毎日1ページ (満点を目標)
- ▶ 教科書の文章を音読し要約する練習

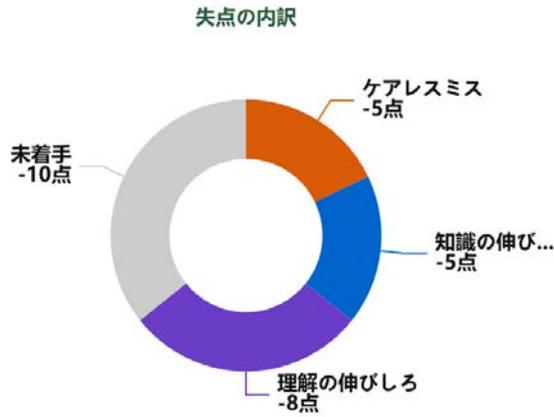
🏠 家庭サポート：記述力(思考面)が一番の課題です。日常会話で「今日あったことを3文で説明して」など、まとめて話す練習を取り入れてみてください。漢字ドリルの丸付けも継続すると知識面の安定につながります。

問題	観点	単元	配点	得点	判定	エラー
大問1(1)	知・技	漢字の読み	3	3	✓	
大問1(2)	知・技	漢字の書き	3	2	✗	知識
→ 「衝撃」の「衝」が書けませんでした						
大問1(3)	知・技	語句の意味	4	4	✓	
大問2(1)	思・判・表	小説文（心情把握）	5	5	✓	
大問2(2)	思・判・表	小説文（理由記述）	6	3	✗	理解
→ 心情の変化は捉えていますが、根拠となる描写の引用が不足しています						
大問2(3)	知・技	小説文（表現技法）	4	4	✓	
大問3(1)	思・判・表	論説文（要旨）	5	3	✗	理解
→ 主旨は掴めていますが、対比構造の説明が不十分です						
大問3(2)	思・判・表	論説文（記述）	6	2	✗	理解
→ 自分の言葉でまとめる力に伸びしろがあります						
大問3(3)	思・判・表	論説文（選択）	4	4	✓	
大問4(1)	知・技	古文（現代語訳）	5	3	✗	知識
→ 古語の意味を正確に押さえる必要があります						
大問4(2)	思・判・表	古文（内容理解）	5	5	✓	
大問5	思・判・表	作文	10	6	✗	理解
→ 構成は良いですが、具体例と結論の結びつきがやや弱いです						

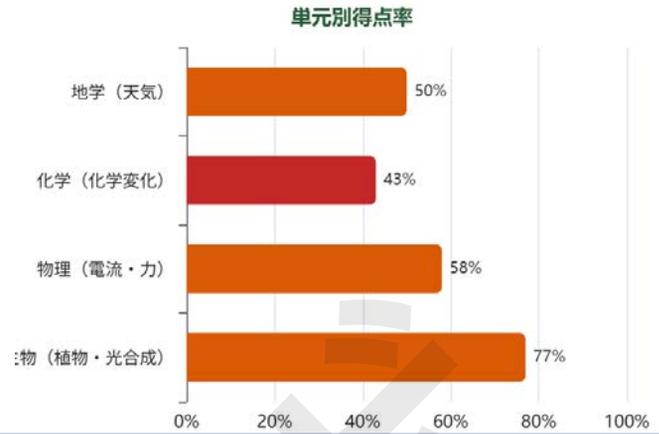
到達度：知識・技能 75%

到達度：思考・判断・表現 23%

失点の内訳



単元別得点率



観点別分析 (通知表に直結)

①知識・技能

B

30/40点 (75%)

基本用語や公式は概ね定着しています。化学反応の計算力を補強すればA評価圏です。

👉 強み：植物、電流と回路、質量保存、力と運動

👉 伸びしろ：化学反応の比、電力計算

②思考・判断・表現

C

7/30点 (23%)

実験考察の記述力に大きな伸びしろがあります。対照実験の意義や結果の考察を書く練習が必要です。

👉 伸びしろ：実験考察、化学変化の記述、天気図

③主体的に学習に取り組む態度はテストでは測定できません。提出物・授業態度・小テスト等で評価されます。

①知識・技能がB、②思考・判断・表現がCと予測されます。記述力の向上が評定アップの鍵です。

ミスの内訳分析

⚡ ケアレスミス：1問 (-5点)

電力計算で回路の種類を取り違えました。問題文の回路図を確認する習慣をつけましょう。

📖 知識の伸びしろ：1問 (-5点)

化学変化の量的関係の計算に伸びしろがあります。

💡 理解の伸びしろ：3問 (-8点)

実験考察の記述で論理的な説明が不十分です。

🕒 未着手：2問 (-10点)

後半の記述問題が未着手です。時間配分の改善が必要です。

🎯 得点アップの可能性

⚡ ケアレスミスがなければ60点 (+5点)

📖 基礎知識を固めれば65点 (+10点)

🎯 次回の現実的な目標は65~70点です

💡 「ケアレスミスがなければ…」を現実にするには、**テスト中の見直し5分**が最も効果的です。途中式を丁寧に書き、最後に符号・単位・問題の読み間違いをチェックする習慣をつけましょう。ミスをなくす力も実力のうちです。

↑ これから取り組むこと (理科：評定3→4)

到達度：知識・技能 56%

到達度：思考・判断・表現 36%

知識・技能 (56%) も思考・判断・表現 (36%) も両方の**底上げ**が必要です。まず教科書の基本用語・公式を確実に覚え、その上で実験考察の記述力を鍛える二段階の**対策**が効果的です。

- ▶ 教科書の太字用語を単元ごとにカード暗記 ▶ 章末問題を1単元ずつ解き直し基礎を固める
- ▶ 実験の目的・手順・結果を自分の言葉で書く練習

🏠 家庭サポート：知識・思考の両方が課題です。まず暗記面のサポートとして、教科書の太字用語と一緒にクイズ形式で確認してみてください。基礎が定着してきたら「この実験は何のため？」と聞いてあげると考える力の練習になります。

問題	観点	単元	配点	得点	判定	エラー
大問1(1)	知・技	植物のつくり	4	4	✓	
大問1(2)	知・技	光合成	4	4	✓	
大問1(3)	思・判・表	光合成（実験考察）	5	2	✗	理解
→ 対照実験の意義を記述できていません						
大問2(1)	知・技	電流と回路	4	4	✓	
大問2(2)	知・技	オームの法則	5	5	✓	
大問2(3)	知・技	電力の計算	5	0	✗	ケアレス
→ 並列回路の電流を直列で計算してしまった可能性があります						
大問3(1)	知・技	化学変化（質量保存）	4	4	✓	
大問3(2)	知・技	化学変化（計算）	5	0	✗	知識
→ 化学反応の比の使い方に課題があります						
大問3(3)	思・判・表	化学変化（記述）	5	2	✗	理解
→ 結果は書けていますが考察の論理構成が不十分です						
大問4(1)	知・技	天気（気団と前線）	4	4	✓	
大問4(2)	思・判・表	天気（天気図の読み取り）	5	3	✗	理解
→ 等圧線と風向の関係の理解に伸びしろがあります						
大問4(3)	思・判・表	天気（記述）	5	0	■	未着手
→ 時間不足で未着手です						
大問5(1)	知・技	力と運動	5	5	✓	
大問5(2)	思・判・表	仕事とエネルギー	5	0	■	未着手
→ 時間不足で未着手です						

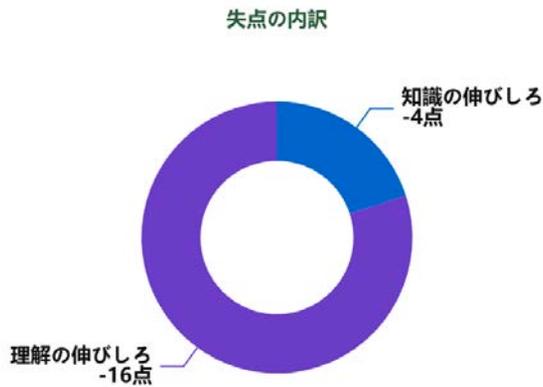
社会

70点 / 平均50点 (+20)

到達度：知識・技能 86%

到達度：思考・判断・表現 35%

失点の内訳



単元別得点率



観点別分析 (通知表に直結)

①知識・技能

A

24/28点 (86%)

地理・歴史の用語知識は非常に良好です。公民の制度面を補強すれば盤石になります。

👉 強み：地理、古代史、中世史、近世史、明治維新、基本的人権

👉 伸びしろ：三権分立

②思考・判断・表現

C~B

12/34点 (35%)

資料読取や記述問題で部分点は取れますが完答率が低いです。因果関係を意識した記述練習が必要です。

👉 伸びしろ：資料分析、歴史記述、時事問題、総合論述

③主体的に学習に取り組む態度はテストでは測定できません。提出物・授業態度・小テスト等で評価されます。

①知識・技能がA、②思考・判断・表現がC~Bと予測されます。記述力の向上で評定4が十分に狙えます。

ミスの内訳分析

知識の伸びしろ：1問 (-4点)

公民分野の制度的知識に伸びしろがあります。

理解の伸びしろ：5問 (-16点)

記述問題で因果関係の説明や資料の分析が不十分です。知識はあるので「なぜ」を意識する練習が効果的です。

得点アップの可能性

⚡ ケアレスミスはありません (現状70点)

📖 公民の知識を固めれば74点 (+4点)

🎯 次回の現実的な目標は80点以上です

これから取り組むこと (社会：評定3→4)

到達度：知識・技能 84%

到達度：思考・判断・表現 40%

知識・技能は84%と良好ですが、思考・判断・表現が40%と大きく落ち込んでいます。資料読み取りや記述問題への対策が評定アップの最短ルートです。用語暗記だけでなく「なぜそうなるか」を考える習慣をつけましょう。

- ▶ 資料・グラフの読み取り問題を週3回練習
- ▶ 時事ニュースを1日1つ読み、理由を考えて書く
- ▶ 記述問題は必ず原因→結果の構成で書く訓練

🏠 家庭サポート：用語は覚えているのに記述・資料問題が苦手なタイプです。ニュースを一緒に見ながら「なぜこうなったと思う？」と因果関係を考える会話を意識してみてください。暗記力を思考力に変えるきっかけになります。

問題	観点	単元	配点	得点	判定	エラー
大問1(1)	知・技	世界地理（気候区分）	4	4	✓	
大問1(2)	思・判・表	世界地理（資料読取）	5	3	✗	理解
→ データの比較はできていますが、理由の説明が不十分です						
大問1(3)	知・技	日本地理（産業）	4	4	✓	
大問2(1)	知・技	古代史（飛鳥～奈良）	4	4	✓	
大問2(2)	知・技	中世史（鎌倉～室町）	4	4	✓	
大問2(3)	知・技	近世史（江戸）	4	4	✓	
大問2(4)	思・判・表	歴史（資料分析）	6	3	✗	理解
→ 時代背景と資料の関連付けが不十分です						
大問3(1)	知・技	近現代史（明治維新）	4	4	✓	
大問3(2)	思・判・表	近現代史（記述）	6	2	✗	理解
→ 因果関係の記述が曖昧です						
大問4(1)	知・技	公民（基本的人権）	4	4	✓	
大問4(2)	知・技	公民（三権分立）	4	0	✗	知識
→ 違憲審査権の所在を正確に覚えましょう						
大問4(3)	思・判・表	公民（時事問題）	5	2	✗	理解
→ 時事的な内容と教科書知識の結びつけに伸びしろがあります						
大問5	思・判・表	総合問題（記述）	6	2	✗	理解
→ 地理・歴史・公民を横断した論述力に課題があります						

🌟 成績向上のための未来シミュレーション

分析データに基づき、取り組み内容と必要時間をシミュレーションしました

英語 92点 → 100点 +8点UP

1日約15分 / 週約106分

ケアレスミスによる失点が2点あります。毎日10分の見直し演習を行うことで改善が見込めます。知識・理解の不足による失点が6点あります。対象単元は（英作文・長文記述）です。週36分の集中演習で補強できます。

数学 88点 → 100点 +30点UP

1日約28分 / 週約196分

ケアレスミスによる失点が9点あります。毎日10分の見直し演習を行うことで改善が見込めます。知識・理解の不足による失点が21点あります。対象単元は（確率・標本調査・一次関数の応用）です。週126分の集中演習で補強できます。

国語 65点 → 81点 +16点UP

1日約14分 / 週約96分

知識・理解の不足による失点が16点あります。対象単元は（漢字・古語・小説の記述）です。週96分の集中演習で補強できます。

理科 55点 → 73点 +18点UP

1日約21分 / 週約148分

ケアレスミスによる失点が5点あります。毎日10分の見直し演習を行うことで改善が見込めます。知識・理解の不足による失点が13点あります。対象単元は（化学反応の比・実験考察・化学変化の記述）です。週78分の集中演習で補強できます。

社会 70点 → 90点 +20点UP

1日約17分 / 週約120分

知識・理解の不足による失点が20点あります。対象単元は（三権分立・資料読取・歴史の記述）です。週120分の集中演習で補強できます。

5教科合計 370点 → 目標 444点 (+74点)

5教科すべてに取り組む場合

1日約1時間35分 / 週約11時間6分

※ 上記は目安です。優先度の高い教科から取り組むことで、より効率的に成績向上が見込めます。すべてを一度にやる必要はありません。まずは得意教科から始めてみましょう。

📖 ご家庭での学習アドバイス

1 復習は「その日のうち」が効果10倍

授業や塾で学んだ内容は、その日のうちに10分でも見返すだけで記憶の定着率が大幅に上がります。翌日以降になると思い出すところからやり直しになります。

2 「間違い直しノート」をつくる

テストや演習で間違えた問題だけを集めたノートを作りましょう。テスト前にこれを見返すだけで、同じミスを繰り返さなくなります。

3 1教科15分 × 3教科が黄金バランス

長時間1教科に集中するより、短時間で複数教科を回す方が脳の切り替えが起き、集中力が持続します。タイマーを使うとさらに効果的です。

4 テスト2週間前から「毎日計画」を

範囲が広い定期テストは、直前の詰め込みでは対応できません。2週間前から1日ごとの計画を立てることで、余裕をもって全範囲をカバーできます。

📄 次回テスト 目標設定シート

目標点と取り組む内容を書いてみましょう

教科	今回	目標点	次のテストに向けてやること
英語	92点		記入欄
数学	88点		記入欄
国語	65点		記入欄
理科	55点		記入欄
社会	70点		記入欄
合計	370点		